ミリオン塗料株式会社
環境経営レポート
2023.12～2024.11

2025年1月20日作成

ミリオン塗料株式会社

®環境省
エコアクション21
認証番号0009431

環　境　経　営　方　針

ミリオン塗料株式会社は、地域性及び環境への関連を考慮し、
以下の環境方針を定め、事業活動を通じ全員参加で自主的、
積極的に環境負荷低減に向け継続的改善を目指します。

1. 環境関連法規を順守します。
2. 資源・エネルギーの消費状況をチェックし、
   環境への負荷を認識し省資源・省エネルギーに努め、
   二酸化炭素排出量削減致します。
3. 排水量(水使用量)の削減に努めます。
4. 廃棄物の削減に努めます。
5. 事業所の紙の排出量を抑制します。
6. 環境に配慮した商品・サービスの普及に努めます。
7. 地域社会に貢献します。
8. 環境レポートを作成し公表します。
9. 環境経営方針を全従業員へ周知します。

2019年8月1日制定
2024年2月1日改定
ミリオン塗料株式会社
代表取締役 西川　隆之

事 業 概 要

1.商号　　ミリオン塗料 株式会社

2.代表者名　　代表取締役　西川　隆之

3.本社　　〒790-0003愛媛県松山市三番町１丁目9-11

4.倉庫　　〒791-8042愛媛県松山市南吉田2509-1

5.設立　　1956年12月7日（創業1953年11月）

6.資本金　　1000万円

7.決算期　　11月

8.営業品目　　塗料・防水・養生副資材・設備機械等の販売

9.従業員数　　10名

10.敷地面積　　861.29㎡

11.建物面積　　525.35㎡

12.対象範囲　　本社及び南吉田危険物倉庫（全組織・全活動）

13.レポートの対象期間　　2024年度（2023年12月～2024年11月）

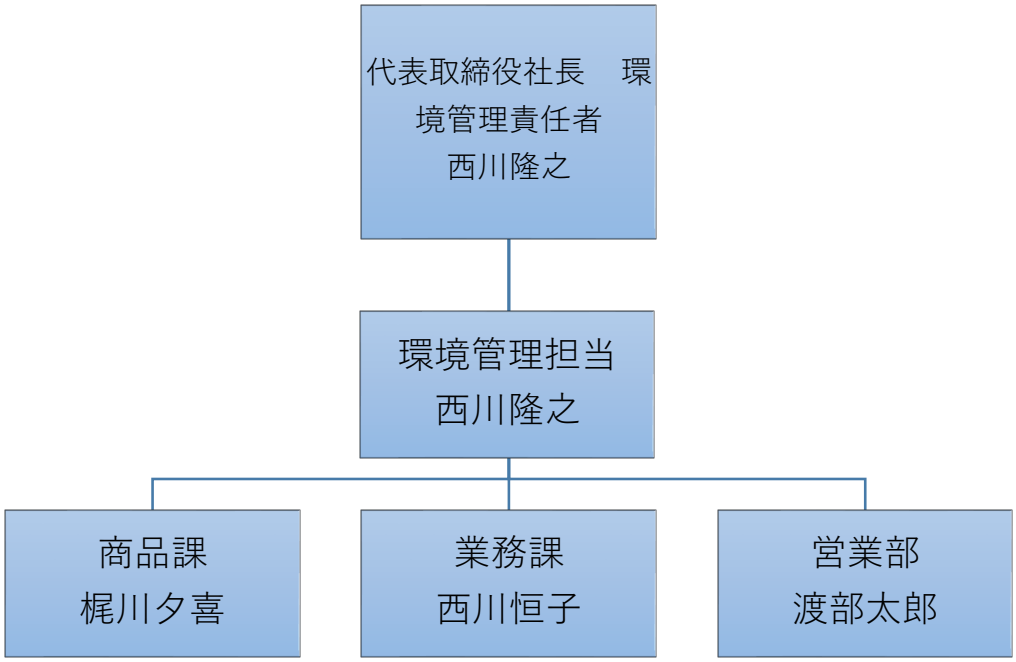
○環境管理責任者　；西川　隆之

○連絡先　　089-941-3776

○FAX　　089-921-0128

○ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　　milionkn@helen.ocn.ne.jp

管理実施組織図及び認証



（所在地）

・本　　社：愛媛県松山市三番町１丁目9-11

・南吉田危険物倉庫：愛媛県松山市南吉田2509-1

責任・権限と役割

代表取締役

1. 環境経営方針の策定
2. 環境管理責任者の任命。
3. ＥＡ21の構築・運用・維持に必要な人材・資金・機械設備の用意。
4. ＥＡ21のシステムの構築運用に関する情報を収集し、方針・目標を始めシステム全体の見直しを行い、必要な場合は改定を指示する。
5. 下記書類の承認。
   - 是正処置報告書
   - 環境関連法規登録表
   - 環境経営レポート
6. 事業規模や事業内容に大きな変更があった場合、環境経営方針を見直す。

環境管理責任者

1. ＥＡ21のシステム構築と合理的・効率的な運用を図り、目的を達成するため「実行計画管理表」の実施状況を定期的にチェックし、問題部門には適切な指示をする。
2. 環境への負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェック環境法規の遵守状況のチェックを実施する。
3. 環境経営目標及び環境活動計画を各部門の責任者に周知する。
4. 環境経営目標を決定し「環境経営計画」として具体化する。
5. 事業規模や事業内容に大きな変更があった場合、環境経営目標及び環境活動を見直す。社外からの問題指摘報告をチェックし必要なものは社長の指示を受け処理する。
6. 取組状況の評価を確認し社長へ報告を行う。
   又提出された「是正処置報告書」が「実行計画管理表」、目標等に関して問題がある、または将来問題になると判断した場合は社長及び必要該当者を集めて対策会議をし、是正の為の措置を決める。
7. 環境文書のチェックを行い必要があれば訂正する。

8. 環境関連法規は、随時見直しを実施する。
9. 社外より環境保全に関する摩擦や苦情が発生した場合、「社外からの問題点指摘報告書」を作成し代表者　社長に報告・処理をする。
10. 環境経営レポートの作成。
11. 環境関連文書の整理・保管。
12. 弊社に新たに採用及び配属された社員及び管理者に対し、速やかに環境方針及び実行計画の教育をする。

各部門の責任者

1. 各部門の構成員に推進会議での決定事項等を説明・教育する。
2. 部門の構成員より提出された「是正処置報告書」をチェックし、必要と思われるものは環境管理責任者に提出する。

部門の構成員

1. 部門の責任者の指示に従い、「実行計画管理表」に基づき必要な行動を実施する。
2. 環境問題に関する不適合が発生（予測を含む）した場合、「是正処置報告書」を作成し必要と思われるものは環境管理責任者に提出する。

環境経営目標

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
環境配慮商品(kg)の販売	環境配慮商品の販売促進、情報提供、新規環境配慮商品の開拓			
	7,520	7,520	5,640	5,640
Co_2排出量(kg-CO_2)の削減	33,500	33,500	33,500	33,500
水使用量(m^3)の削減	289	289	330	330
廃棄物(廃油)(kg)の削減	360	360	360	1,600

注1.四国電力2019年度のC02換算係数0.485を使用

注2.化学物質の使用量の削減目標については、当社は化学物質の使用は
ありません

注3.CO_2排出量については取組の限界、環境配慮商品はコロナの影響、
資材の値上げ納期遅れなどにより見通しが立たず継続目標としました。

注4.廃油については、新たな仕事が増えた事と不良在庫処分を実施し、
量が増えましたが、2025年度は前年度より100kg減を目標と致します。

注5.2020年度を基準年度とします。

■環境目標の実績（2024年度）

		対比	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	達成率	評価
環境配慮商品(kg)		実績値	405.6	410.8	400.8	440.8	480.8	490.9	570.8	580.7	550.8	475.5	500.8	550.9	103%	◯
		累計		816.4	1,217.2	1,658.0	2,138.8	2,629.7	3,200.5	3,781.2	4,332.0	4,807.5	5,308.3	5,859.2		
		累計目標値	470	940	1410	1,880	2350	2,820	3290	3,760	4230	4,700	5170	5640		
CO_2排出量	CO_2換算Kg	実績値	2,306.2	2,574.0	2,322.2	2,566.8	2,382.6	1,920.7	2,289.7	2,864.7	2,749.4	2,592.4	2,322.0	2,145.8	115%	◯
		累積値		4,880.2	7,202.4	9,769.2	12,151.8	14,072.5	16,362.2	19,226.9	21,976.3	24,568.7	26,890.8	29,036.5		
		累計目標値	2,791.6	5,583.2	8,374.8	11,166.4	13,958.0	16,749.6	19,541.2	22,332.8	25,124.4	27,916.0	30,707.6	33,500.0		
水使用量(m3)		実績値	50	0	53	1	55	0	56	0	55	1	52	1	101%	◯
		累積値		50	103	104	159	159	215	215	270	271	323	324		
		累計目標値	27.5	55	82.5	110	137.5	165	192.5	220	247.5	275	302.5	330		
廃棄物	廃油(kg)	実績値	0	0	0	0	450	0	430	190	0	310	0	320	21%	×
		累積値	—	0	0	0	450	450	880	1070	1070	1380	1380	1700		
		累計目標値	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360		

備　考

1. 環境配慮商品は遮熱塗料、ガイナ、ブラインド、オスモ、VATON、他新規商品を含む
2. 廃油は０ではなく発生しているが、一定量たまると廃棄する為、廃棄時にそのマニュフェストの値を記載する為、
   当該期間は実績値と０と記載している。

3.化学物質の使用量の削減目標については、当社は化学物質の使用はありません

■環境経営計画

１．環境配慮商品の販売拡大

遮熱塗料、自然塗料の理解を深め、環境への負担低減の必要性を伝えることにより販売を拡大していく

２．二酸化炭素排出量の削減

自動車燃料の効率化
・エコドライブの徹底
　アイドリングストップ
　急発進・急加速の禁止
　タイヤの空気圧をこまめに点検する
・効率の良い配達ルートの確立

電力の抑制
・空調のエコ温度の徹底　　夏場28℃±１℃　　冬場20℃±1℃
・エアコンフィルターの掃除の実施

３．水使用量の削減

・こまめな節水
・洗車・清掃方法の効率化

４.産業廃棄物再資源化率の向上

・資源物のリサイクル
・マニフェストの管理

５．紙使用量の削減

・両面印刷の実施
・メールの活用
・シュレッダー使用対象の限定化

６．グリーン購入の実施
・エコマーク商品の購入拡大【文具・作業服等】

７.その他
・関係法令の遵守
・環境方針・環境目標・環境活動への取組を社員全員に浸透させる

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	活動内容	部署	評価	次年度の取組
環境配慮商品の販売拡大	遮熱塗料や自然塗料の環境への負荷の低減を広 める為わかりやすく使用しやすい商品提案の考案	営業	―	引続き継続
	・遮熱塗料の販売拡大		○	
	・オスモ（自然塗料）の販売拡大		○	
	・自然塗料の有効性をユーザーに伝える		○	
CO2排出量の削減	自動車燃料の効率化	営業 配達	―	引続き継続
	・タイヤの空気圧の定期点検を実行		○	
	・配達ルートの重複を防ぐ		○	
	電力の抑制		―	
	・エアコンのエコ温度を厳守		○	
	・エアコンフィルターの掃除実施		○	
水使用量の削減		全員	―	引続き継続
	・こまめな節水		○	
	・洗車、清掃方法の効率化		○	
	・手洗いの時、水を出しっ放しにしない		○	
			―	
産業廃棄物排出量の削減	資源物のリサイクル	事務	○	引続き継続
	マニフェストの管理		○	
	廃油の排出量減少を心掛ける		×	
紙使用量の削減	縮小コピー、裏紙使用の採用	事務 営業	○	引続き継続
	両面印刷の実施		○	
	メールの活用		○	
	シュレッダーの使用の限定化 （個人情報・機密文書）		○	
			―	
グリーン購入の実施	エコマーク商品の購入拡大（文具・機密文章）	事務	○	引続き継続
その他	関係法令の尊守	全員	○	引続き継続
	環境方針・環境目標・環境活動への取組を		○	
	社員全員に浸透させる		○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規制の名称	該当項目	該当する設備・項目	遵守評価	評価結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	（産業廃棄物の保管基準） ・悲惨、流出及び地下浸透しない措置 ・ネズミ、ハエ、蚊その他害虫発生防止 （産業廃棄物の委託基準） ・知事の許可を受けた収集運搬業者又は処理業者との契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容などは必要事項記載 ・収集運搬業者又は処理業の許可証添付 （産業廃棄物管理票） ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付 ・マニフェストA,B2,D,E票を5年間保存	廃油 古紙	自社管理	○
フロン排出抑制法	・フロン類の登録回収業者による適切な回収 ・フロン類回収時の委託登録書交付と取引証明書の保存 ・取引証明書が30日以内に送付されない場合に知事への報告 ・3ヵ月に1回の簡易点検の実施	業務用エアコン	自社　管理	○
消防法	消防設備の定期点検 少量危険物貯蔵取扱届出 危険物貯蔵所届出 危険物保安監督者選任	消火器 消防法該当危険物類	消防設備点検結果報告書　少量危険物貯蔵取扱届	○
毒物及び劇物取締法	・保管場所への表示 ・盗難防止措置（施錠）	倉庫	自社管理	○
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者の選任	第2種有機溶剤	有機溶剤作業主任者資格	○
家電リサイクル法	廃棄する際のリサイクル券購入	家電	自社管理	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済となった自動車を引取業者に引き渡さなければならない 一般事業者の責務 1　適正処理業者の選択 2　新車の購入時にリサイクル料金を支払う	自動車	自社管理	○

＊順守評価の欄：確認した記録などを記入　判定欄：○×

×の場合は問題点処置表により解決する

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。なお、訴訟及び関係当局からの指摘は過去創業以来一度もありません。

代表者による全体評価と見直し・指示

ロシアのウクライナ侵攻問題・イスラエル・パレスチナ問題等、世界情勢が安定しない中、米国トランプ大統領誕生と世界経済も安定しない一年でした。塗料業界は、世界情勢に敏感に反応致します。石油・ナフサ価格の高止まりもあり昨年に引き続き商材の値上げラッシュとなり利益を圧迫する形となりました。しかしながら、アスベスト問題・シリカ問題もありユーザー様の環境対応型塗料への関心はより高まったと実感致します。この流れを活かし、弊社では水性塗料・紛体塗料・遮熱塗料・抗菌塗料・抗ウイルス塗料などを積極的に販売し塗料でCO2を含む環境問題に全力で取り組みます。最後に、商圏を広げる為、廃油の量がかなり増えた事につきましては痛恨の極みですが、来期の課題として社一丸となり取り組みます。

【環境方針】　　変更の必要性は、ない
【目標・活動計画】変更の必要性は、ある
【実施体制他】　　変更の必要性は、ない

2025年1月20日　代表取締役社長　西川　隆之